

各教科で共通すること

(確かな学力を身につけるために)

1 授業の前に

- 授業に必要なものや授業にあった服装などをきちんと準備し、授業に臨める態勢を忘れずにおきましょう。
- 学習する内容を事前に予習しておけば、授業の理解度はアップします。教科書を一度、読んでおくだけでも効果があります。

2 授業では

新見第一中学校では、『進んで学習し、深く考える生徒』の育成を目指しています。

そのために、

- ① 授業に集中し、先生や友達の発言をしっかり聞くようにしましょう。
- ② 大きな声で授業前後のあいさつをし、積極的に発言したり、活動にも意欲的に取り組んだりしましょう。
- ③ ノートは、板書をきれいな字で書き、大切なことなど工夫して記入し、自分にとって見やすいノートにしましょう。
- ④ わからないことは、その場で質問したり、授業後に先生や友達に聞いたりしましょう。

3 授業のあとに

- その日に学習したことは、その日に復習することが大切です。各教科から出された宿題は、必ずその日に済ませ提出しましょう。
- 家庭学習の時間を設定し、毎日、この時間になったら机に向かうという生活習慣を身につけておくことが大切です。また、次の日の授業準備を前日に済ませておきましょう。

国語



1 学習の目標

表現力と理解力を高めることで、人間関係を成立させるためのコミュニケーション能力の向上を目標にしています。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3項目について学習を行います。

2 学習の仕方

- 授業の前に
 - ・教科書、ノート、ワーク、漢字ノート、漢字字典、国語便覧など授業に必要な物を忘れないように準備しよう。
 - ・新出漢字を正しく覚えよう。
- 授業では
 - ・音読はみんなに聞こえるように大きな声でゆっくりしよう。
 - ・先生の説明や友達の発表をよく聞いて、自分の考えを持とう。
 - ・間違うことを恐れず、積極的に発表しよう。
 - ・ノートには、黒板に書かれたことだけでなく、自分が気づいたことや友達の意見、先生の説明のポイントなども書いておこう。
- 授業のあとに
 - ・習ったことを、その日の内に復習することが大切です。
 - ・普段からたゆみなく自主的に漢字練習をしましょう。

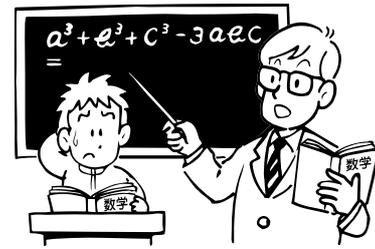
3 評価について

観点項目	評価の方法
国語への 関心・意欲・態度	学習の準備・授業中の発表・課題への取り組み・宿題の提出状況・授業ノート
話す・聞く能力	朗読・スピーチ・弁論・話し合いの様子
書く能力	感想文・作文・弁論文・文章の要約
読む能力	授業中の発表・ワークやプリント・定期考査
言語についての 知識・理解・技能	漢字・言語事項のテスト・書写作品・定期考査・古文の暗唱

4 先生方からのアドバイス

「国語」は国語の授業だけでなく、毎日の生活の中で身につけるべきことがたくさんあります。本や新聞など文章をしっかりと読み、教養を深め、伝え合う力を高めていきましょう。

数 学



1 学習の目標

考える力を身に付ける。

- ・物ごとを筋道を立てて考えたり、多様な解決方法を考えたり、友達の考え方のよさを味わうことができる。

基礎的な計算力を身に付ける。

- ・計算単元（正の数・負の数、方程式、文字式、平方根、因数分解など）の確実な計算力を身に付けることができる。

2 学習の仕方

- 授業の前に

前時のノート(学習プリント)の見直しをしましょう

- ・数学は積み重ねの教科です。前時に使ったノートやプリントの見直しをして授業に望みましょう。また、授業道具は忘れないようにしましょう。

- 授業では

「自分でやってみる」「粘り強く考えてみる」ことを大切にしましょう

- ・答えをだして満足するだけでなく、他の解決方法を考えたり、友達の考えを聞いたりして自分の考えを深めるようにしましょう。

- 授業のあとに

その日の授業内容をその日に復習をしましょう

- ・「わかる」と「できる」は違います。学習内容を定着させるためには、その日のうちの復習がとても大切になります。授業で習った箇所をワークで復習し、授業で間違った問題をもう一度やってみましょう。



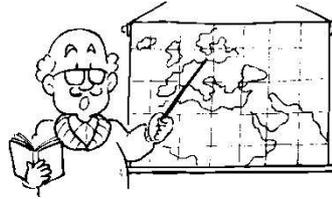
3 評価について

観 点 項 目	評 価 の 方 法
関心・意欲・態度	学習プリント（ノート）、ワーク、宿題の提出状況、授業中の発言や態度など
数学的な見方や考え方	テスト（定期考査・課題テスト・実力テスト）、小テスト、学習プリント（ノート）、ワーク、授業中の発言など
技能	テスト（定期考査・課題テスト・実力テスト）、小テスト、学習プリント（ノート）、ワーク、授業中の発言など
知識・理解	テスト（定期考査・課題テスト・実力テスト）、小テスト、学習プリント（ノート）、ワーク、授業中の発言など

4 先生方からのアドバイス

数学は毎日家庭学習が必要な教科です。「ある日突然数学ができるようになる」なんてことはありません。「わからないぞ。できないぞ。」と感じたらできるだけ早く解決をしましょう。あとでやろうは手遅れになります。

社会



1 学習の目標

社会科は歴史（過去のこと）、地理（現在のこと）、公民（将来深く関わる法や政治、経済のこと）について、学習します。その中で必要になってくるのは、知識を身につけ、その知識と与えられた資料を活用しながら問題を解決していくことです。その中で、問題を1つの面からとらえるのではなく、色々な角度からとらえていくことも必要になってきます。また、与えられた課題に対し、意見を自分の言葉で発表することが大切になってきます。

2 学習の仕方

- 授業の前に
授業前の予習は特に必要ありません。忘れ物をしないように、次の日の授業に必要なものは必ず確認をしておきましょう。
- 授業では
自分の知識とさまざまな資料（写真・グラフ・地図など）を活用し、課題を解決する方法を自分なりに考えていくことが大切です。間違えても良いので、積極的に発言し、友達の意見にもしっかりと耳を傾け、自分の考えを深めていきましょう。
- 授業のあとに
授業のあとの復習がとても大切です。学習した語句や見方・考え方は、その日のうちに教科書やノート、ワークなどで復習しておきましょう。



3 評価について

観点項目	評価の方法
社会的事象への 関心・意欲・態度	準備物、授業態度、提出物 社会での出来事への関心
社会的な 思考・判断・表現	授業での発表内容、ワークシート、定期考査、小テスト
資料活用 の技能	授業での発表内容、ワークシート、白地図 定期考査、小テスト
社会的事象について の知識・理解	授業での発表内容、定期考査、小テスト

4 先生方からのアドバイス

- ・テレビやインターネットでニュースを見て、世の中の出来事に常に関心をもっておくようにしましょう。
- ・短期間で力がつく教科ではないので、授業の中で粘り強く考え、答えを導く方法をつかんでいきましょう。

英語



1 学習の目標

英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を身に着ける。

2 学習の仕方

- 授業の前に
 - ・忘れ物をしないように準備しよう。
 - ・先生の指示に従って予習をしよう。教科書の文や単語を見ておくと、授業での理解度も上がります。
- 授業では
 - ・英語は「単語」と「語順」が大切です。授業中に学習したことは覚えるように、集中して先生の話进行聞こう。
 - ・「話す」「書く」「聞く」「読む」の活動に積極的に取り組もう。
 - ・分からないことは遠慮なく先生に聞こう。
- 授業のあとに
 - ・語学は継続的な学習が必要です。授業で理解したことを復習して、忘れない努力を続けよう。
 - ・授業を思い出して、教科書の本文をしっかりと声に出して読もう。
 - ・宿題は大切な復習です。丁寧に取組んで、必ず期日を守って提出しよう。
 - ・覚えた単語は繰り返し復習し続けよう。油断すると忘れてしまいます。
*「読める、意味が分かる、書ける」ができて本当に覚えたこととなります。

3 評価について

観 点 項 目	評 価 の 方 法
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	授業中の発表、コミュニケーション活動での態度、課題の提出など
表現の能力 (書く、読む、話す)	授業中の発表、音読活動、自己表現活動、コミュニケーション活動、 英作文、スピーチ、定期考査 など
理解の能力 (読む、聞く)	授業中の発表、読み取り活動、コミュニケーション活動、聞き取り テスト、定期考査 など
言語や文化についての 知識理解	授業中の発表、コミュニケーション活動、レポート、定期考査 など

4 先生方からのアドバイス

英語は、みなさんが将来、勉強や仕事や交流の場で使う、大切な「ことば」です。英語を覚えることは大変ですが、英語を使うことで世界が広がります。間違いを恐れず、どんどん英語を使って、英語を上達させましょう。



理科



1 学習の目標

私たち人間は、地球上で生きている一つの生物であり、私たち自身も含め、私たちの周りにあるもの全てが自然です。理科は、この自然のしくみ（生命、地球、物質、エネルギー）を調べ、明らかにしていく学習です。

- ①自然の事物・現象に関心を持ち、基本的な原理や法則を理解しよう。
- ②自然の現象や観察・実験を通して、科学的に物事を考える力を養おう。

2 学習の仕方

○ 授業の前に

- ・普段から自然の事象に興味や関心を持ち、「なぜ？どうして？」と疑問を持った
り、考えたりしよう。

○ 授業では

- ・先生の話や指示をしっかりと聞こう。
- ・実験や観察には、自分なりに予想を立てて、疑問を持ちながら、積極的に安全に
取り組もう。
- ・積極的に自分の考えを発表しよう。

○ 授業のあとに

- ・今日の授業で学習した事柄や重要語句をしっかりと復習しよう。
- ・実験の方法や結果を振り返り、なぜそういう結果になったかを確認しよう。
- ・宿題やワーク・ノートをきちんとやろう。



3 評価について

観点項目	評価の方法
自然事象への 関心・意欲・態度	プリント、ノート、ワーク、宿題の提出状況、 授業中の発表や態度など
科学的な思考・表現	テスト（定期考査・課題テスト・実力テスト、小テスト）、プリ ント、ノート、ワーク、レポート、授業中の発表など
観察・実験の技能	テスト（定期考査・課題テスト・実力テスト、小テスト）、プリ ント、ノート、ワーク、レポート、実験の様子など
自然事象についての 知識・理解	テスト（定期考査・課題テスト・実力テスト、小テスト）、プリ ント、ノート、ワーク、授業中の発表など

4 先生方からのアドバイス

- ・身の回りの自然や科学や自然をテーマにした新聞・雑誌・TV番組などに関心を持
ち、積極的に観察したり、視聴したりしよう。
- ・理科で一番おもしろいのは実験・観察です。実験や観察に自分から積極的に取り組
み、実験の意味や実験道具、実験方法や結果、結果からわかることなどしっかりと
理解したり、覚えたりしよう。ただ見ているだけでなく、積極的に実験に取り組むこと
で、よく記憶にも残ります。

保健体育



1 学習の目標

- 運動の行い方や体の動かし方について理解し、体力を高め、体の調子を整え、たくましい心や体を育ていこう。
- 運動の楽しさを味わい、仲間とコミュニケーションを図りながら協力して授業を進めよう。
- 競争や協同の経験を通して、ルールを守り、お互いに健康や安全に留意して運動に取り組めるようにしよう。
- 健康・安全についての理解を通して得た知識を日常生活に生かしていこう。

2 学習の仕方

- 授業の前に
 - ・保健体育は身体を動かすことが第一です。そのために、病気やけがをしない心がけが必要です。
 - ・実技書やルールブックで種目のルールや技能について調べておこう。また、スポーツをしたり見たりすることに関心を持とう。
- 授業では
 - ・しっかり身体を動かし、運動を楽しもう。
 - ・時間に遅れず、服装を整え参加しよう。
 - ・協力して準備や片付けを行い、活動できる時間が多く確保できるようにしよう。
 - ・仲間と協力して練習や試合ができるように積極的なコミュニケーションを図ろう。
 - ・保健の時間では「なぜだろう」という疑問を持ったり、その答を予測したりしてみよう。
- 授業のあとに
 - ・体育や保健の授業で学んだことを生かし、健康・安全に留意して生活しよう。



3 評価について



観点項目	評価の方法
運動や健康・安全への関心・意欲・態度	授業に積極的に参加し、運動を楽しんでいるか。 自分の持っている力を精一杯出しているか。 指示、説明などを集中して聞いているか。 保健においては、忘れ物がなく積極的に発言できるか。
運動や健康・安全についての思考・判断	仲間とコミュニケーションを図り、協力して運動しているか。 仲間や自分の安全を考え、活動しているか。
運動の技能	運動を楽しむことができる技能を身につけているか。 運動の技能が、よりよくできるようになったか。
運動や健康・安全についての知識・理解	運動の技能、練習方法、ルールなどを理解しているか。 保健で学習した内容を理解し、身につけているか。

4 先生方からのアドバイス

将来もずっと自分の生活の中に運動を取り入れ、健康で豊かな生活を送れるようにするための基礎作りが体育の時間です。仲間と一緒に安全に配慮し、知力の向上を目指し手楽しく授業に取り組もう。

音楽



1 学習の目標

- 音楽の基礎的な部分を理解することができる。
- 主体的に活動し、表現することで能力を伸ばすとともに、他と協力し作り上げようとする態度を身につける。

2 学習の仕方

- 授業の前に
 - ・ 準備物を忘れないようにしましょう。忘れたら授業が始まる前に申し出ましょう。
 - ・ 音楽室には楽器や機材がたくさん置いてあります。準備室に入ったり、中にある物を勝手にさわったりしないようにしましょう。

2分前着席を徹底し、元気の良い挨拶で授業が始められるよう心がけよう。

- 授業では
 - ・ 活動の切り替えを早くして、時間を有効に使いましょう。
 - ・ 友達の意見や発表をしっかりと聞き、お互いの良いところを見つけ、自分の演奏に活かしましょう。
- 授業のあとに
 - ・ ノートやプリント等、課題は期限を守って提出しましょう。
 - ・ わからないことや楽器の練習など、気軽に質問しましょう。

3 評価について

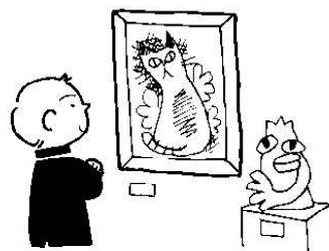
観点項目	評価の方法
音楽への関心 意欲・態度	・ 授業の様子（ルールを守って、表現活動に積極的に取り組んでいる） ・ 準備物や提出物がきちんとできている。 ・ 班で協力して活動ができている。
音楽表現の 創意工夫	・ 音楽のもつ雰囲気や特質などを感じ取っている。 （記述テスト，ノート・プリント記述） ・ 表現活動に適切な工夫をこらしている。 （授業実技，ノート・プリント記述）
音楽表現の 技能	・ 表現活動に必要な知識を身につけている。 （記述テスト，ノート・プリント記述） ・ 表現活動に必要な技能を身につけている。 （授業実技，ノート・プリント記述）
鑑賞の能力	・ 関心をもってさまざまな音楽を聴くことができる。 （鑑賞態度，ノート・プリント記述） ・ 楽曲の雰囲気や曲想を適切にとらえることができる。 （ノート・プリント記述）

以上のことを踏まえ、授業態度や提出物，授業実技，定期考査などで評価します。

4 先生方からのアドバイス

音楽の仕組みを知ることが音楽を深く理解することにつながります。音楽を深く理解すると、前に聴いて知っていた音楽に対して新たな発見があったり感じ方ができたりして、今まで以上に音楽に親しむことができます。難しい内容もあるかもしれませんが、いつも楽しむ心を忘れず、生き生きとした音楽室にしていきましょう。

美術



1 学習の目標

美術を愛好する力を身に付ける。

- ・自主的に美術の活動に取り組み、作品制作の楽しさを味わう。

創意工夫し、表現する能力を高める。

- ・対象を見つめ、感じ取る力や想像力を高め、創意工夫することで美しく表現する能力を身に付ける。

2 学習の仕方

○ 授業の前に

美術教室で授業を行います。すばやい移動を心がけましょう。

- ・作業前の準備があります。早めの移動を心がけ、始業チャイムで開始できるようにしましょう。

各自が使用する準備物を整えておきましょう。

- ・前日には準備物を整え、忘れ物がないように心がけましょう。

○ 授業では

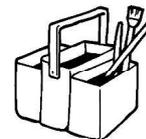
「創意工夫をする」「粘り強く取り組む」ことを大切にしましょう

- ・授業で毎時間行うクロッキーを丁寧に描くことで、創造的な技能を身につけましょう。
- ・自らの発想や構想したことを基に創意工夫し、粘り強く集中して取り組みましょう。

○ 授業のあとに

美術作品をよさや美しさを味わい、大切にしましょう。

- ・自らの思いを表現した世界でただ一つの作品です。よさや美しさを味わい、大切にしましょう。



3 評価について

観点項目	評価の方法
美術への 関心・意欲・態度	準備物持参など授業に臨む姿勢、主体的な授業に対する取り組み
発想や構想の能力	作品制作（豊かな発想力、形や色彩の構成などの工夫）
創造的な技能	作品制作（表現の技能、意図に応じた材料や用具の使い方、創意工夫）
鑑賞の能力	発表、文章表記（美術作品からよさや美しさを感じ取る、作者の心情や意図と表現の工夫を知る）

4 先生方からのアドバイス

美術の授業で一番大切なことは準備物を整え「楽しく活動に取り組む」ことです。毎時間行う「クロッキー」を丁寧に描くことで、着実に創造的な技能の向上につながります。

美術作品や文化遺産に対する関心を深め、よさや美しさなどを鑑賞し、美術を愛好する心情を深めてください。

技術・家庭科

1 学習の目標

「技術・家庭科」は『技術分野』と『家庭分野』に分かれています。

○『技術分野』

木材や金属を加工して作品を製作し、コンピュータの使い方などの技術を身につけることができる。

○『家庭分野』

衣食住の生活や家族に関する学習を通して、生活の自立や精神的な自立ができるようになる。

2 学習の仕方

○ 授業の前に

- ・忘れ物がないようにしましょう。

○ 授業では

- ・説明をよく聞き、理解を深めましょう。
- ・実習では、課題をよく確かめ、最後までやり遂げましょう。
- ・実習では、特に安全に気をつけ、各自が責任を持って、みんなで協力して作業や後片付けをしましょう。

○ 授業のあとに

- ・生活に活かしてみましょう。



3 評価について

観点項目	評価の方法
生活や技術への 関心・意欲・態度	課題に取り組む姿勢（準備物・発表・態度など） 学習プリントやノートの記述など
生活を工夫し 創造する能力	実習への取り組み方、作品 表現力（学習プリントやノート、レポートの記述）など
生活の技能	実習の様子、学習プリントやノートの記述 作品など
生活や技術について の知識・理解	学習プリントやノートの記述 定期テスト、小テスト、授業中の発言など

4 先生方からのアドバイス

- 次の時間に学習することや準備物を確認しておきましょう。
- 作品を大切に扱い、最後まで完成させましょう。